

令和4年度 学校だより



令和4年11月4日(金)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 11月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka

花いっぱい 自分 友だち 御一小

実りの秋、第一小

子どもたちの思いの詰まった運動会が、笑顔いっぱい
で終わりました。「御一マンTシャツ」制作のためのアルミ缶
集めや委員会・応援団の活躍など、全員の協力で達成
感のある行事となりました。保護者の皆様には、子どもた
ちへの御支援・コロナ対応下での人数制限等への御協
力ありがとうございました。



運動会後の学校生活では、より集中して授業に打ち込む姿がどのクラスでも見られます。2
年生の算数の授業では、九九の学習が始まりました。数の具体的なイメージが頭の中にあっ
て、積の結果を数字としてあらわすことにより規則性に気づくことが丁寧に行われていました。

算数に限らず、具体的なイメージを持つには、生活経験が必要です。最近ではコロナの影響
もあり、活動が制限されたり、除菌が行き届いていたりすることもあり、驚くことを耳にすることがあ
ります。(皮付きのリンゴを知らない子、カブトムシに触れない子、旗を揚げるのに上部しか結ば
ない子等々)便利さを追求する現代の生活で、子どもたちが多様な経験をすることができる環
境が大切です。小学校でも、調理実習や楽器の演奏など、不足している部分を丁寧に補っ
ていく必要性を感じています。

一方、理科では、生活経験から正しいと思っていることを「素朴概念」といいます。「ジャガイ
モに種はあるのか?」という質問に、「種イモで増やすから、種はない」あるいは、「ジャガイモそ
のものが種だ」と答える場合がそうです。正しくはジャガイモにも

花が咲き、ミニトマトのような小さな丸い果実の中に種がで
きます。こちらは「科学的概念」といいます。理科の授業では、
実験や観察によってこの素朴概念のおかしさに気づき、科
学的概念を獲得することが行われています。

スタートは、生活経験です。子どもたちは、五感を使って
世界を感じ取っています。秋の過ごしやすい気候の中で、
様々な経験を通した学習活動が進められ、子どもたちの実
りになっています。



ジャガイモの実とタネ